



～今号のコラム～

下を向いて歩こう

-マンホールの世界-



長い残暑も終わり、ようやく秋らしくなってきました。
上を見て歩けば、色づき始めた紅葉が、
下を向いて歩けば、いつもと変わらない顔のマンホールがあります。
今月はマンホールについてのお話です。

▼基本の3種、マンホール、ハンドホール、消火栓

マンホールは大きく3種類に分別ができます。

- ・マンホール → 直径60センチほどの大きく丸い蓋(フタ)。直訳すれば「人孔」。つまり地下に埋められた設備を点検・管理するために人が出入りする穴です。
- ・ハンドホール → 対してマンホールの子供のような、小さな丸い蓋もよく見かけるといいます。工具や手だけを入れて作業ができる小さめの穴です。ケーブルの挿入や撤去時に使用します。
- ・消火栓 → 丸だけでなく、四角い蓋も見かけますね。消火活動に使用する水が貯められています。消火栓に使う機器の都合や使いやすさのため、四角い形状のものが多いです。

▼マンホールの蓋はなぜ丸い？

蓋の丸い形にも理由があります。蓋が四角いと、蓋が穴の中に落ちてしまう可能性があります。穴より少し大きめに作った丸なら、落ちることはありません。なお、日本のマンホールは蓋と枠の間が斜めに加工された、「勾配受け」の採用で、自動車の通行による振動音が少なく、世界最高水準の技術とされています。

▼二代勢力「東京市型」と「名古屋型」

蓋のデザインも様々な趣向が凝らされており、キャラクターが描かれたご当地マンホールなども全国にあります。一般的に見かけるのものは「東京市型」と「名古屋型」に大きく分類されます(参考URL参照)

東京で「名古屋市型」が見つかったり、「東京市型」と「名古屋型」のハイブリッドデザインが見つかったりと愛好家を楽しませています。

▼気になるお値段は・・・

ここまで読んで頂き、興味が湧いた方は購入を検討されることもあるかと思います。調べたところ、Amazonでも購入できるようです。直径495mmの鋳鉄製マンホールなら1万円で購入可能です。個人的には直径328mmの鋳鉄製雨水格子蓋がオシャレだと思います。こちらは5千円とお手頃価格で購入できます。

■参考URL

https://style.nikkei.com/article/DGXNASFE16001_W4A410C1000000

まるっとテレワーク導入支援

テレワークツールは売れません！！ SEが導入のお手伝い！！

- テレワークを導入したいけど、どこから手を付けてよいか**サッパリ分からない**
- テレワークツールがたくさんありすぎて**どれを選んだらよいか分からない**
- テレワークを導入したいが、**人手が足りず手が回らない**
- 自分の会社規模に**ベストマッチのシステム**が分からない
- テレワークツールを購入したが、導入途中で分からなくなってしまい**先に進めない**
- どの商品が**どの程度のセキュリティ**を担保しているのか分からない



JPCがお手伝いします!!



1. 最適なテレワーク商品選定
2. 各PCの設定代行
3. 独自のマニュアル作成
4. メーカー、ディーラーとの折衝代行
5. ツールの選定～導入～運用のサポート
6. その他、IT周りのご相談は何でも！



～お気軽にお問い合わせください～

〒105-0014 東京都港区芝2-27-8 VORT芝公園 2階

株式会社ジェーピークリエイト

TEL:03-6435-0020

FAX:03-6435-0495

URL: <https://www.jpc.jp/>

E-mail: info@jpc.jp